

大分教育事務所訪問 60

大分市立南大分小学校に学ぶ 学校経営から学ぶ

学校の教育目標「豊かな心と知性にあふれ、たくましく行動できる子どもの育成」を達成するために、めざす子ども像を「やさしい子(徳)」「考える子(知)」「すこやかな子(体)」として、「活力ある学校」「安全・安心な学校」「地域と共に育つ学校」と定め、「友愛の教育」を日常授業や行事においても意識した実践を行っています。また、昨年度から教職員集団のスローガンを「チーム南小」から「南小ファミリー」として、これまで以上に教職員が認め合い支え合う集団となっています。

このような、学力向上の取組と友愛の教育を中心とした人権感覚の育成の実践が確実に実を結び、学力調査だけでなく質問紙調査でも成果を出し、子ども達だけでなく教職員の自信にもなっています。

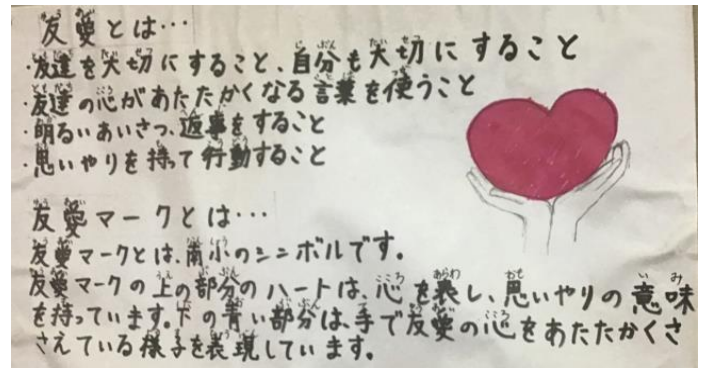
今後は、「友愛の教育」をとおして、それぞれの取組が、子ども達に「どのような力(資質・能力の3本柱)をつけるかを明確にし、そのことを子ども達も含めて共通理解を図ることで、より「効果のある学校」へとなることでしょう。

授業から学ぶ

参観したどの教室でも、自然と学び合ったり、友達のつぶやきにうなづく等、子ども達の温かい関係を感じることができました。

また、教師の課題も工夫があり、特に6年3組社会の「鎌倉幕府が倒れた後の様子を調べよう」4年2組理科の「雨水の行方」等は、子ども達は自分の考えを記入していました。このように、多様な考えが認められるので、改めて、「ねらい」に対する「課題」の在り方を学びました。

今後は、指導案の「振り返り」において、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして明記されてみてはいかがでしょうか。そのことで、本時の「ねらい」との連動や評価規準がより明確になり、授業力の向上が図られると思いました。



NO.273 2021年9月 南大分小学校

友愛の教室

拍手はされる人だけでなく、する人も笑顔になっている。だから教室中に笑顔があふれる。



NO.274 2021年9月 南大分小学校

自己決定

どのやり方が良いのかは自分で決める。自己決定を繰り返すことで自立できる人になる。



NO.271 2021年9月 南大分小学校

指先集中力

まっすぐに腕を伸ばす、指先まで集中する。練習時間が少ないから、全身を集中させて覚える。



NO.272 2021年9月 南大分小学校

リードする挙手

天井を突き刺すような勢いある挙手は、自信の表れですね。そのような人が学びの雰囲気をつくっていきます。